

〇2月20日(土)開催 市民山の会中止に伴う
代替例会/布引支部特別企画

姫路獨協大学副学長・道谷 卓先生解説による
「古代からのまち・御影を楽しもう!」に感謝
布引支部 吉野 宏

昨年の年初から瞬く間に感染拡大したコロナ禍により、不要不急の外出自粛が強く叫ばれておりました。そして、緊急事態宣言の発令などが追い打ちをかけることとなり、計画されていたあらゆる行事が、官・民関係なく中止や延期を余儀なくされ続けてきました。ヒヨコが70年間に及んで同調例会に取り上げてきた「神戸市民山の会・月例会」もことごとく中止となり、月1回お顔馴染みの方々に逢えることを楽しみにしておられた多くの市民やヒヨコ会員は、悶々とした日々を過ごされていたことでしょう・・・。



阪急御影駅北広場に集まった多くの参加者

そんな中ヒヨコ登山会では昨年10月より、その月例会に代わるものとして、支部単位で行動できる計画を特別例会として行うことにしました。



香雪美術館 (*村山龍平氏収集の美術品を収蔵展示)
*朝日新聞創始者/茶道具・仏教美術品を収蔵展示

その理由は、支部単位の行動ですと、①参加数が限定され「密」になる可能性が低い②統制が諮りやすい③身近なコースや知識を得られる計画が可能・・・という思いからの決断でした。そして令和3年2月、布引支部が中止行事の代替例会として計画したのが表題の例会でした!!



神功皇后ゆかりの弓弦羽(ゆづるは)神社本殿



境内にあるサッカーボールのモニュメント

*「サッカー発祥地・御影」に相應しい



中勝寺

*平野城(御影城)城主・平野備前守忠勝の菩提寺

当初、本計画を立てるにあたり、先に記した①及び②もさることながら、③を重視したことに対し、山の空気が吸いたい!!・・・願望の会員に、

果して受け入れられるだろうか・・・?と心配したのは、終わってみれば私のとり越し苦労でした。

神戸深江生活文化史料館の副館長でもいらっしゃる道谷先生が語って下さる、その解り易い解説は、明るく聞きやすいお声に加え、時にはユーモアを交えたものであって、3時間半に及ぶコース中、参加者の誰一人として退屈する者も無く、又、途中下車?するものも無く、楽しく

ゴールに到着することが出来たのでした。私が経験してきた例会の歴史の中で、こんなことは初めてのことでした！！



綱敷天満神社本殿（祭神は学問の神様・菅原道真）
*筆者が幼児期、蝉取りに明け暮れた思い出の場所



ヒヨコ布引支部のニュー乙女隊 氏神様に何願う？



境内には多くの種類の梅の花が香っていました！



石屋川鉄道トンネル跡での解説を熱心に聞く参加者



御影公会堂（神戸の有名な建築家・清水栄二氏設計）
*地下に日本柔道の師・嘉納治五郎記念コーナーが設けられている。地下のレストランなど、ここも筆者の懐かしい思い出の場所なんです！（結婚式を上げました！）



道谷先生の公会堂解説を熱心に聞く参加者



石屋川を渡る西国街道の名残、「西国橋」にて



すぐ北側はヤマヤさん？ご承知の「徳川道起点」場所



嘉納治五郎世家跡に付けられた解説板

(道谷先生作)



里程標（一里毎に作られた塚）の解説板



有名な「西国街道名残の松」



嘉納治五郎生誕地石碑の前で解説される道谷先生

＊道谷先生はここ御影で生まれ、御影で育ち、(小・中・高ともに御影が頭に付く学校を卒業) 現在も御影に住んでおられる・・・いわば「みかげっ子」です！！

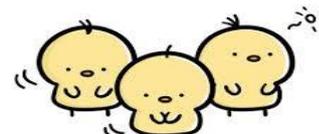
参加しておられなかった他支部の皆さんには、写真の一つ一つを、先生の解説に基づき、もっともっと詳しく記すればよいのですが、紙面の関係もあり、控えさせていただきます。

どうか皆様、一度ご自分でお歩き願えれば「古代からのまち・御影の魅力」を存分に感じて頂けることと思います。

六甲山と言う恵まれた山地を背に持ち、その区その区において、素晴らしい歴史にあふれる街「神戸」は、私たち市民の財産です。これからも、身近な歴史を勉強出来るこのような企画を計画したいものですね！！

最後になりましたが、大変多忙な中にも拘わらず、お世話になりました道谷先生に、紙面に恐縮ですが、厚く御礼を申し上げます。本当に有難うございました。

又、今回の企画に関し、ご尽力下さいました神戸市インフォメーションセンターの潮崎孝代姉様にもお心遣い頂きまして感謝申し上げます。有難うございました。



天 候 晴 れ

参加者 43 名